

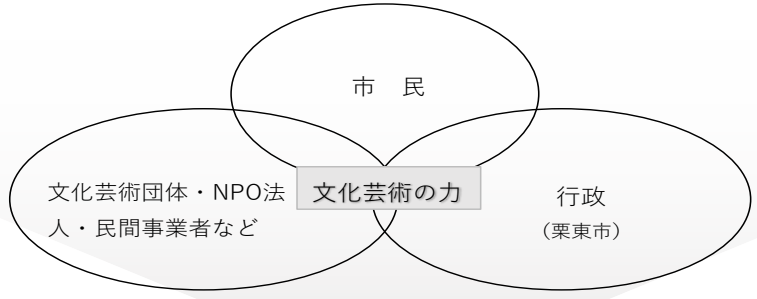
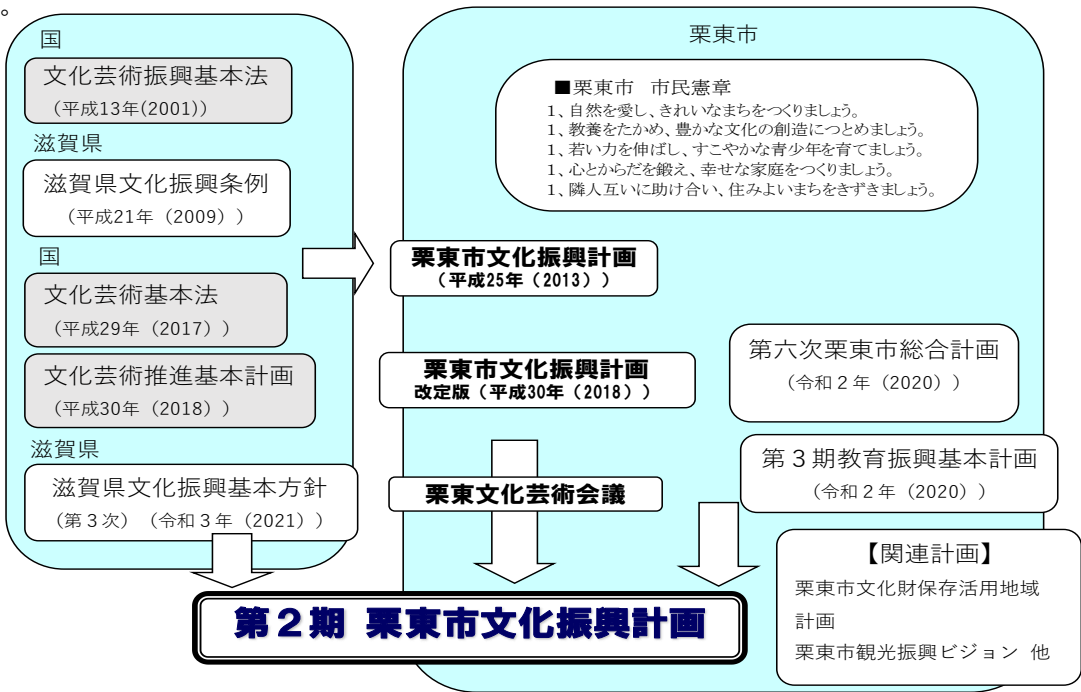
第2期 栗東市文化振興計画 〈概要版〉

－文化芸術の力で人とまちを豊かに元気にする－

■計画の趣旨■ 本市では、文化芸術基本法、滋賀県文化振興基本方針を参酌しつつ、市の第六次栗東市総合計画などを踏まえ、文化団体の活動支援、また、芸術文化会館さきらを文化振興の中核施設として位置付け、様々な事業、施策を展開してまいりました。しかし、時代の潮流は激しく、グローバル化、少子高齢化、情報化などが変化する社会情勢の中、文化芸術を取り巻く環境も大きな変革の時代にあり、きめ細かな対応が求められるようになりました。

こうした状況のもと、「人が育ち力を発揮できる生涯学習のまち」として、栗東ならではの魅力を創造し、市民が主役となった文化芸術活動や特性を活かした地域文化の振興を促進し、質の高い幸福感を持つことができる市民生活を実現する文化の見えるまちづくりの実現を目指すため本計画を策定します。

計画期間
令和5（2023）年度～
令和14（2032）年度



≪基本的な視点≫

地域	個性あるまちの文化を創造・発信する視点
市民	市民の力、多様性を生かす視点
伝統	歴史・伝統文化を守り継承するとともに新たな創造へつなげる視点
連携	市民、事業者、行政が連携し文化力を高める視点

文化の創造と継承

■本計画の構成■



さきらジュニアオーケストラ



栗東芸術文化会館さきら



■関連するSDGsのゴール■
(持続可能な開発目標)

基本理念：文化芸術の力で人とまちを豊かに元気にする

市民誰もが文化芸術に親しみ、多様な主体が活動し連携する場づくり

文化芸術を継承し、つなぎ、支え、創造する人材を育む

文化芸術の多様な価値を地域づくりに活かし、まちを元気にする

発信・連携・協働・継承・育成・創造

基本目標

場・環境づくり

重点項目

- ①文化振興拠点（場）としての芸術文化会館の整備
- ②文化施設の活用・充実
- ③文化施設とそこで活動する団体などとの連携
- ④企業による文化活動支援の促進
- ⑤鑑賞機会の充実
- ⑥学校教育における文化芸術体験学習の実施

人づくり

重点項目

- ①若手芸術家の育成・支援
- ②文化をつなぐ人材の育成と障がい者・高齢者・子育て世代への活動支援
- ③団体の連携・サポート
- ④団体の交流

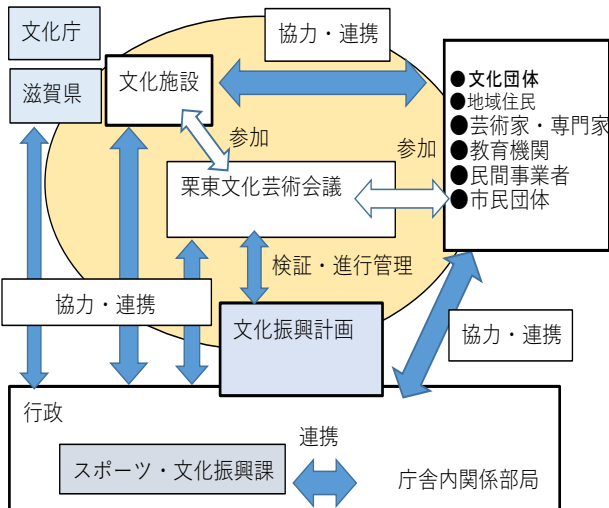
地域へ活かす

重点項目

- ①歴史文化資産（要素）の保存、活用と情報発信
- ②観光・産業分野との連携
- ③伝統文化の継承及び伝統文化を基礎とした新しい文化の創造

具体的施策

成果指標



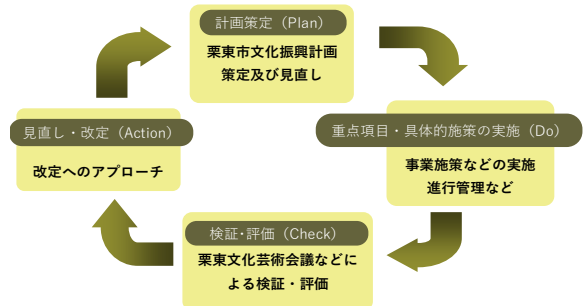
■ 計画の実施体制 ■



小杖祭りの祭礼芸能



栗東市美術展



■ 計画PDCAサイクル ■